

大淀中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載しています。

義務教育卒業時につけたい力 道徳教育（判断力・実践力の育成） ○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 ○将来の夢や自分のやるべき仕事に向かって前向きに考える力																				
学年または学年区分ごとにめざす姿																				
○約束やきまりを守り、自分のやるべきことをしっかりと行える子ども ① 【希望・勇気】自分のやるべきことをしっかりと行い自分自身を高めることができる子ども ② 【規則の尊重】約束や決まりを守り、みんなが使うものを大切にする子ども			○約束や社会のきまりを守り、目標に向かって、粘り強くやり抜く子ども ① 【希望・勇気・努力と強い意志】自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く子ども ② 【規則の尊重】約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る子ども			○希望と勇気を持ち、理想の実現のため努力できる子ども ① 【希望・勇気・努力と強い意志】より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやりぬく子ども ② 【よりよく生きる喜び】よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、理想の実現のため努力できる子ども			○希望と勇気を持ち、人間として生きることの喜びを見出す子ども ① 【希望・勇気・努力と強い意志】より高い目標を設定し、その達成をめざし、希望と勇気を持ち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる子ども ② 【よりよく生きる喜び】人間には自らの良さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見出す子ども											
小1（1年）		小2（2年）		小3（3年）		小4（4年）		小5（5年）		小6（6年）		中1（7年）		中2（8年）		中3（9年）				
取組・活動												＜大淀中学校の取組＞								
＜明親・美豆小学校の取組＞ ○自分のやるべき勉強や仕事を自分のやるべきこととしてしっかりと行うことができる態度を養う。 ○身近な約束や決まりはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解ししっかりと守ろうとする意欲や態度を育てる みんなのために役だとうとする意欲や態度を育てる。 ○道徳教育 ○家庭学習・係の仕事・植物の栽培・遊びのルール・清掃活動			○目標を実現するためには自分自身の努力だけでなく周りの人の賞賛や励ましがあることに気づき粘り強く努力しようとする態度を育てる。 ○約束や社会のきまりの意義や良さを理解し、周囲に安易に流されない強い心を育てる。 ○道徳教育 ○家庭学習・自主学習・係の仕事・部活動・宿泊行事・清掃活動			○様々な生き方への関心を高めるとともに自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気を持ち困難があってもくじけずに努力しようとする強い意志と実行力を育てる。 ○人間の強さや気高さを理解しほこりある生き方夢や希望など喜びのある生き方につなげようとする 様々な生き方への関心を高め理想に向かって前進していこうとする強い意志と実行力を育てる ○道徳教育 ○総合的な学習・家庭学習・自主学習・係の仕事・部活動・宿泊行事・清掃活動			○日常的な努力で達成できる目標を持たせ、達成できたときの成就感や満足感を繰り返し味わわせることを通して、希望と勇気生まれてくることを自覚させる。 ○自分を含め、人はだれでも人間らしいよさをもっていることを認めるとともに、決して人間に絶望することなく、だれに対してもその人間としてのよさを見いだしていく態度を育てる ○道徳教育 ○総合的な学習・家庭学習・自主学習・係の仕事・部活動・宿泊行事・清掃活動											
＜中学校ブロックとしての取組＞																				
○道徳教育の推進（授業研究会の実施と公開・一貫カリキュラムの作成と研究・共通アンケートの実施と考察・手立て） ○人権教育の推進（人権学習の充実・取組の広報） ○小中合同研修会の実施（部会組織の充実・発展） ○道徳教育を柱としたカリキュラム・マネジメントによる教科領域の学習活動・体験活動の実践交流																				

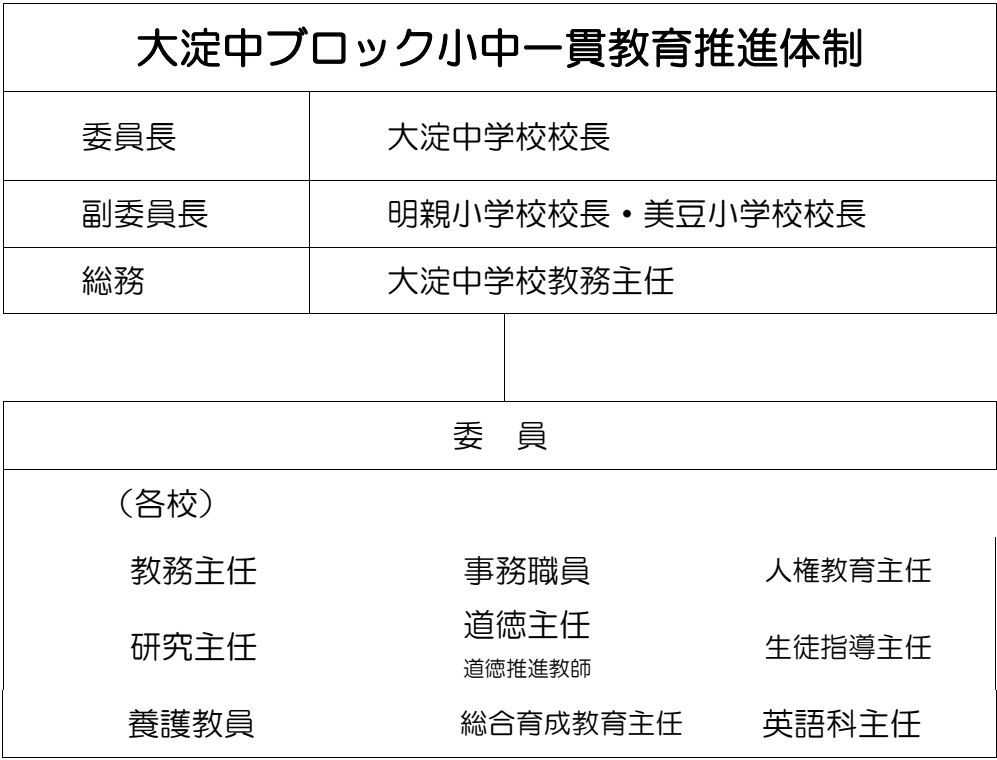
義務教育卒業時ににつけたい力 学力向上（家庭学習の定着） ○生涯にわたって、学び続ける力 ○自ら学び、考える力								
学年または学年区分ごとにめざす姿 わかる・できる・たのしい 集中する ・ 続ける 集中する ・ 考える ・ 粘り強く続ける。								
小１（１年）	小２（２年）	小３（３年）	小４（４年）	小５（５年）	小６（６年）	中１（７年）	中２（８年）	中３（９年）
取組・活動 ＜明親・美豆小学校の取組＞ 家庭学習 音読（全員に同じ課題を与え、家の人に聞いてもらいサインをもらう。）						＜大淀中学校の取組＞ 教科書を読む。 終末課題・教科の課題		
○国語・算数の練習プリント ○日記 ○自主学習ノート ・言葉集め ・文作り ・漢字 ・計算 ・その日の学習の復習 ・視写 ・読書感想文 ・意味調べ ・各教科のまとめ ・テスト勉強 ・予習 ○計算ドリル ○漢字ドリル（漢字学習） ○問題集 ○ノートの不備を整える。 ・新出の語句，用語，単語を調べる。・教科書の例題を解く。								
読書 手元に本を置き毎日読む。 好きな本を読む いろいろな本を選んで読む。 いろいろなジャンルの本を読み視野を広げる。 新聞を読む。								
家庭学習の時間 毎日決めた時間に自分から ○15分位でできる内容 ○30分位でできる内容 ○45分位でできる内容 ○1時間位でできる内容 ○1時間15分位でできる内容 ○1時間30分位でできる内容 ○2時間位でできる内容 ○2時間位でできる内容 ○受験対策問題をする。 ○2時間くらいでできる内容（部活引退後は3時間）								
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○家庭学習の内容が、宿題から児童生徒の興味・関心に基づく自主学習へと移行していくよう、意図的・計画的に宿題を出す。 ○授業と家庭学習をつなぐ工夫をする。 ・学習の楽しさを実感できる魅力ある授業を展開する。 ・個に応じて学習の方法を具体的に指導する。 ・授業に関連する課題を工夫し、予習・復習をさせる。 ・家庭学習のねらいを分かりやすく示す。 ・努力を認め、学習の成果を実感させる。 ○宿題をきっかけに家庭学習の習慣化を図る。								

義務教育卒業時につきたい力 自尊感情の醸成（自己肯定感・自己有用感の育成） ○人間としての在り方・生き方を踏まえ、自らの個性・適正を伸ばしながら、生き方について考え主体的な選択と進路の決定ができる力 ○他者の善意や支えへの感謝の気持ちと、それに応える力 ○社会の一員としての自覚を持った行動ができる力								
学年または学年区分ごとにめざす姿 相手との関わりの中で、自分の特徴や存在に気づける子ども 小集団や学級の中で、自分の特徴や自分ができにことに気づける子ども			集団の中で、自分の特徴を知り、自分の役割や存在感を感じる子ども			多様な考え方の受容と、自分の個性の価値を理解し、社会生活における適正を確認できる子ども		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ＜明親・美豆小学校の取組＞ ○自分の好きなこと、得意なことやできることを増やし、さまざまな活動に意欲と自信をもって取り組ませる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○よかったこと見つけ		○友だちの良さを認め、協力して活動する中で、自分らしさや役割を自覚させる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○きりり見つけ		○苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れずに取り組み、継続し、やり遂げることで集団の中での自己有用感・自尊感情を、各行事を通して育てる。 ○今日のスター		＜大淀中学校の取組＞ ○本校への誇り・愛校心の象徴としての校歌斉唱を推奨する。 ○自己存在感育成のひとつとして、朝学活における生徒呼名（健康観察を兼ねて実施）と、入学式における生徒呼名（H29年度より）を実施する。 ○自己有用感育成に向け、ボランティア活動の募集（校内・地域）を行う。 ○自己肯定感育成に向け、各学級・学年に応じた「いいところ探し」の取組を展開する。		
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○毎朝学活時の呼名（自己存在感・自己肯定感の育成）→ 自尊感情の醸成 ○年間を通した三校での挨拶運動の実施（・統一したポスターを校内・地域に掲示 ・小中が時期を同じにした挨拶キャンペーンの展開） ○児童・生徒の発達段階に応じた「いいところ探し」を、各学級・学年・学校の実情に応じて取り組む（自己肯定感・自己有用感の育成）→ 自尊感情の醸成								

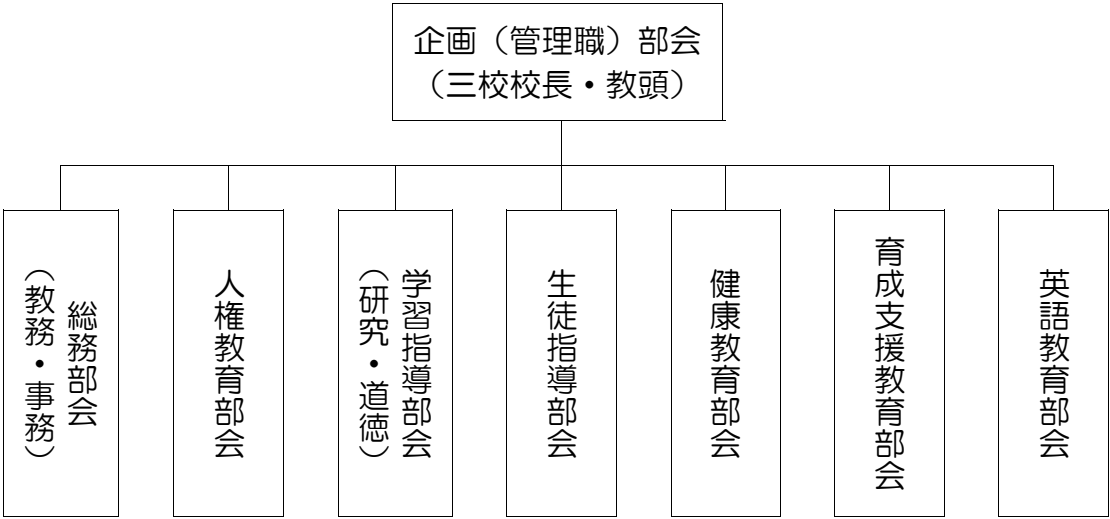
小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。

大淀中 小中一貫教育推進体制・推進部会



小中一貫教育推進部会



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

- ・三校が学校だよりと HP において，大淀中学校ブロックが9年間を通して取り組む「軸となる取組・活動」について掲載し，家庭や地域の理解と協力を呼びかける。
＊学校だよりは地域への回覧を実施している。
- ・小学校の学校運営協議会と中学校の学校評議員会において，上記の「軸となる取組・活動」を周知し，理解と協力を求めると共に，地域や PTA が連携できることを模索する。
- ・各校の学校評価アンケートにおいて，「軸となる取組・活動」に関する統一したアンケート項目を再考する。
- ・「大淀中学校ブロック小中一貫教育だより」の発行を検討する。